かすみがうら

第190号
＜毎月1日発行＞
■ 発行所 ■
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel: 029-822-5050
Fax: 029-824-0494
E-Mail & WebSite
kasumi@hosp.go.jp
http://kasumi-hosp.jp

小児科診療が正常化しました

　去る五月一一日に、当院小児科部長の山口医師が突然の怪我の為入院し、その後小児科の外来診療が縮小されました。山口医師が不在の間は、非常勤の鈴木医師が月水金の三日だけ午前中の診療を担当し、夕方の外来は休診、火曜と木曜は全日休診とし、また土日祝日の午前中の小児急患対応も中止しておりました。

　幸い山口医師が回復し七月一七日から復職して、小児科の診療体制が以前通りになりましたので、お知らせいたします。

　月曜から金曜まで午前と夕方の外来診療を行い、また夜七時までは急患対応を行っています。土日祝日は、午前中のみ小児の急患対応を行いますので、お電話をしてからお越しください。

　二ヶ月にわたり、小児の患者さんには大変ご迷惑をお掛けしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

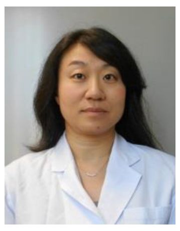
お盆もやっています

　毎年この時期になると、患者さんから「病院のお盆休みは何時からですか。」と聞かれる事があります。

　病院にはお盆休みはありませんので、ご安心ください。

新任医師のご挨拶

〈泌尿器科〉 ～和久　夏衣～



　七月より泌尿器科常勤医として着任致しました、和久と申します。泌尿器科疾患全般に対する診療を行っておりますが、特に女性泌尿器科を専門としております。

　泌尿器科は今までの一人体制から二人体制になり、外来枠を増設致しました。また、内視鏡手術等も徐々に再開していく予定です。

　女性泌尿器科分野に関しては現在専門外来の開設に向けて準備を進めております。女性の尿もれ、尿が出にくい、尿が近い等の症状、膀胱や子宮が下がっている状態、骨盤部の痛み等を主に扱っている分野ですので、このような症状がある方はご相談ください。

（専門外来開設前は金曜日午前の一般外来で診察を行います。）

　また、女性患者様にとって泌尿器科は受診しづらいといわれますが、そのような患者様にも気軽に受診して頂けるよう、女性医師希望にも出来るだけ対応致します。地域の皆様が受診しやすい泌尿器科を目指していきたいと考えております。宜しくお願い致します。

今月の書評

「善意の架け橋 ポーランド魂とやまと心」

兵藤長雄　著

〈小児科〉 ～山口　真也～

　サッカーワールドカップ予選の最終試合に日本と対戦した事で、この国の名を覚えている方も多いと思います。日本にとっては遠く地球の裏側にある馴染みの少ない小国かもしれませんが、実はポーランドは大変な親日国なのだそうです。この本は、一九九三年から一九九七年までポーランド大使を務めた外務省の官僚が、過去に日本とポーランドの間に交わされた善意の物語を求めたものです。

　歴史的に見ると、ポーランドは一〇世紀末に王国として台頭し、初代国王がカトリックに改宗した為、文化的にはロシアよりも西ヨーロッパ諸国に近くなったそうです。しかし、ヨーロッパの中央に位置する為に多くの民族が侵入してくる宿命にあり、プロイセンやオーストリア、ロシアに干渉された挙げ句、一八世紀にはロシア帝国の一部にされてしまいます。そして一九〇四年の日露戦争ではロシア軍の兵士として徴兵され、満州で日本軍と戦う事になりました。

　日露戦争が始まった直後に、ポーランドからプウスツキという著名な政治家が日本を訪れ、ポーランド人捕虜に対する優遇を依頼しました。ポーランド人はロシア帝国の圧政に苦しんでおり、本当はロシアの為に戦いたくはない。彼らが降伏したら、ロシア人捕虜とは分けて、特別の配慮をしてほしいというのです。日本政府はこの要請を受け入れ、ポーランド人の為の収容所を特別に作って優遇しました。その事もあって、ポーランド人兵士の戦意は低く、進んで日本の捕虜になる者も多かったと言います。松山の収容所では、日本海海戦で日本がバルチック艦隊を撃滅した時、ポーランド人捕虜は全員で万歳を唱えたそうです。

　著者が留学していたイギリスの学校で、ポーランド人の先生に大変に親切にしてもらったそうで、何故そんなに親切にしてくれるのかと尋ねました。すると、その先生のお父さんが日露戦争の時に日本の捕虜になり、松山の収容所で多くの日本人からとても親切にしてもらった恩返しだと言われたそうです。父が親切にしてもらったから、というだけで、その先生は日本人に対する親近感をずっと持ち続けていらしたわけです。

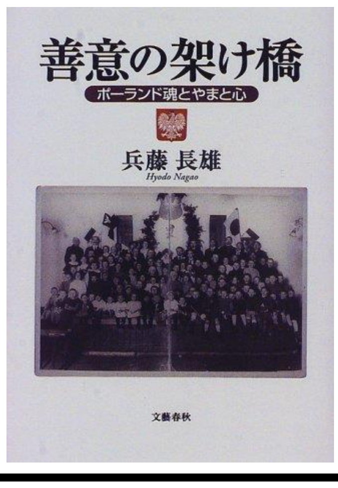
　さて次のエピソードは、シベリア孤児の話です。第一次大戦が終わった一九一九年、ポーランドは一二〇年以上続いたロシア帝国の支配から開放され、再び独立国になりました。その当時、シベリアにはポーランド人が十万人以上も住んでいて、その多くは、独立運動をして捕まった政治犯たちで、シベリアに流刑にされた人たちでした。そのようなポーランド人達は、シベリアの地で劣悪な環境のもとに生き延びていたわけですが、特に悲惨だったのは病気や戦乱で親を失った子供たちでした。孤児院に押し込められ、食べるものも着るものも不足し、餓死寸前の状態の子供たちを何とかして救わなくてはならない。そこでウラジオストクに住んでいたポーランド人達によって「ポーランド救済委員会」が設立されました。委員会はアメリカのポーランド人移民社会に保護を頼み、孤児の受け入れを了承してもらいましたが、子供たちをアメリカに送る手立てがありませんでした。その為、委員会が日本政府に支援を要請したところ、孤児達の悲惨な状況に心を打たれた日本政府、外務省はすぐに行動を起こし、日本赤十字もすぐに支援を決断しました。この間、わずか一七日だったそうです。そして、二週間後には第一陣として二六名のシベリア孤児たちがウラジオストクから敦賀に船で運ばれ、東京の慈善団体の施設に連れてこられました。その後も輸送は続き、最終的に七六五名の児童が日本に運ばれました。

　日本に着いたポーランド人孤児たちを、当時の日本人は官民あげて暖かく迎えたそうです。孤児たちのいる宿舎に慰問の品を持ち寄る人たち。無料で歯科治療や理髪を申し出る人たち。学生たちは慰問の音楽会を開き、仏教団体は子供たちを慰安会に招待し、寄贈金を申し出る人たちは後を絶たなかったと言います。日赤は言葉が通じない孤児たちにきめ細かな支援をする為に、孤児十名に一人の割合でポーランド人の大人を付添人として配置したそうです。日本に辿り着いた時の子供たちは飢餓の為に痩せこけていましたが、日本にいる間に栄養状態が改善して、その後アメリカに旅立っていきました。横浜港から出発した際、幼い孤児たちは、親身に世話をしてくれた日本人の保母さんとの別れを悲しみ、乗船するのを泣いて嫌がったそうです。

　さて、このような心温まる話を、著者の兵藤さんは、大使としてポーランドに赴任している間に知り、大変感銘を受けました。そこで、当時のシベリア孤児たちを探し出して、日本の大使公邸にご招待したのです。皆さんはもう八〇歳以上の高齢になっていましたが、それでも八名の方たちが集まり、日本の思い出話をされたそうです。その詳細は本書を読んで頂きたいと思いますが、日本に着いた後、多くの日本人に親切にしてもらった事をこの方たちは鮮明に覚えていました。日本の葉書や写真を七〇年以上も大切に取っていて、それを披露する人もいらっしゃいました。

　シベリアでポーランド人孤児を探して奔走したヤクブケヴイツチさんというポーランド人医師は、「ポーランド国民の感激、われらは日本の恩を忘れない」という文章を残しています。「日本人はわがポーランドとは全く縁故の遠い異人種である。日本はわがポーランドとは全く異なる地球の反対側に存在する国である。しかも、わが不運なるポーランドの児童にかくも深く同情を寄せ、心より憐憫の情を表してくれた以上、われわれポーランド人は肝に銘じてその恩を忘れる事はない。……われわれの児童たちをしばしば見舞いに来てくれた裕福な日本人の子供が、孤児たちの服装の惨めなのを見て、自分の着ていた最もきれいな衣服を脱いで与えようとしたり、髪に結ったリボン、櫛、飾り帯、さては指輪までとってポーランドの子供たちに与えようとした。こんな事は一度や二度ではない。しばしばあった。……ポーランド国民もまた高尚な国民であるが故に、われわれはいつまでも恩を忘れない国民である事を日本人に告げたい。日本人がポーランドの児童の為に尽くしてくれた事は、ポーランドはもとより米国でも広く知られている。……ここに、ポーランド国民は日本に対し、最も深い尊敬、最も深い感恩、最も暖かき友情、愛情をもっている事をお伝えしたい。」

　この本は、阪神大震災の被災児がポーランドに招待された話など、日本とポーランドの心温まるエピソードがたくさん記されています。もう絶版になっていて、なかなか手に入りませんが、閲覧ご希望の方は小児科外来までお申し出ください。



休診及び代診のお知らせ

平成30年8月分(7月26日現在)

休診日	診療科	休診医師	代診医師	備考
8月1日（水）	消化器内科	村下	なし	
	産婦人科	市川（良）	なし	
8月2日（木）	内科総合	齋藤	なし	
	循環器内科	榎本	なし	
	産婦人科	市川（良）	なし	
	産婦人科	市川（喜）	なし	
	整形外科	青戸	なし	
8月3日（金）	消化器内科	菅谷（明）	なし	
	循環器内科	西	なし	
	産婦人科	坂中	なし	
	外科	福永	なし	
	内科総合	齋藤	なし	
	麻酔科	―	なし	
8月7日（火）	消化器内科	菅谷（明）	なし	
8月8日（水）	循環器内科	丸山	なし	
	整形外科	菅谷（久）	なし	
	耳鼻咽喉科	星野	なし	
8月9日（木）	腎臓内科	甲斐	なし	
	耳鼻咽喉科	星野	なし	
8月10日（金）	消化器内科	菅谷（明）	なし	
	耳鼻咽喉科	星野	なし	
8月13日（月）	呼吸器内科	菊池	なし	
	産婦人科	坂中	なし	
	形成外科	―	―	予約外受付 １２時まで
8月14日（火）	消化器内科	廣瀬	なし	予約外休診
	外科	矢野	なし	
8月15日（水）	呼吸器内科	菊池	なし	
	産婦人科	坂中	なし	
	代謝内科	渡邉	なし	
8月16日（木）	小児循環器	田口	なし	
8月17日（金）	呼吸器内科	菊池	なし	
	産婦人科	坂中	なし	
	内科総合	齋藤	なし	
8月20日（月）	眼科	高橋	上野	
	産婦人科	新井	未定	代診なしの場合 産科休診
	内科総合	栗原	なし	
8月21日（火）	産婦人科	新井	なし	
	眼科	高橋	上野	
	内科総合	栗原	齋藤	
8月22日（水）	眼科	高橋	上野	
	産婦人科	新井	未定	代診なしの場合 婦人科予約外休診
8月23日（木）	眼科	高橋	上野	
	耳鼻咽喉科	星野	なし	
	泌尿器科	宮崎	なし	
	内科総合	栗原	齋藤	
8月24日（金）	産婦人科	新井	なし	
	眼科	高橋	上野	
	耳鼻咽喉科	星野	なし	
8月27日（月）	眼科	上野	高橋	
8月28日（火）	眼科	上野	高橋	
	産婦人科	永井	なし	
8月29日（水）	眼科	上野	高橋	
	消化器内科	廣瀬	なし	
	整形外科	戸塚	なし	
	循環器内科	丸山	なし	
8月30日（木）	眼科	上野	高橋	
	産婦人科	市川（喜）	なし	
	産婦人科	永井	なし	
	泌尿器科	宮崎	なし	
8月31日（金）	眼科	上野	高橋	
	産婦人科	河野	なし	
	乳腺外来	澤	なし	
	整形外科	戸塚	なし	

最新の情報は
当院ホームページをご確認ください。

高校生・中学生 一日看護体験

毎年夏の恒例となった中学生、高校生一日看護体験が今年も行われました。高校生の皆さんは看護師、放射線技師、薬剤師と将来の進路について夢を持っていました。今回の体験を通し、医療職への具体的なイメージ、やりがいを感じとり、将来への向かう道を心に強く誓ったようです。近い将来一緒に働く事が出来たら素敵な事ですね。

中学生の皆さんは、髪をアップにして初めて着る白衣にわくわく、少し緊張しながらも楽しそうに見学をしていました。また、体験学習としてステートを使用してお互いの心音、呼吸音、腸蠕動音を聴取、初めて聞く音に眼を輝かせていました。今回は色々な職種にも触れ、「病院は沢山の職種が力を合わせて成り立っている事がわかりました」という言葉が聞かれました。

「専門職業人」を少しでも理解し、興味を持ってもらえたのではないでしょうか？

お忙しい中、体験学習にご協力頂き有難うございました。

「こどもの日」行事食イベント

＜栄養管理室長＞　～齊藤　由理～

少し前の事になりますが、今年も五月五日、端午の節句にお出しした「こどもの日」行事食を金太郎さんにレポートして頂きます。

【五月五日　常食献立】
＜昼食＞
●ちらし寿司
●ぶりの照焼
　人参の甘煮
●春雨かにかまサラダ
●小松菜辛子和え
●柏餅
かぶとメッセージカード付き

な、な、なんだ！
この小さなかぶとたちは
なるほど、食事に届けるカードに差し込むのか
はずして飾れるんだ。面白い！
割り箸こいのぼりも、上手く出来ておる
うちに持って帰りたいなあ…

入院患者さんは、子どもよりお年寄りが多いようだけど、今は節句を祝うなんて、あまりする事がないらしい。まさかり担いで、稽古をつける相手もいないのか…。

これじゃ、クマにも勝てないじゃないか！

病院でこんな甘いものが出るんだ。手作りお寿司もおいしそう。

病棟に、このこいのぼりが飾ってあれば、ほっこりするなあ…。

さあ、オイラもまた、稽古に勤しもう。

いつか悪者を倒すために！

公開市民講座のご案内

●八月六日（月）
　午後二時より
「わきが・多汗症のはなし」
　形成外科　阿部　加代子

＜場　所＞
　研修棟講堂

がまの油売り来ます

諸般の事情で、六月と七月は患者さんのイベントが中断してしまいましたが（すみませんでした）、八月からまた復活致します。今月お越しくださるのは和弘（わこう）一座の皆さんでがまの油売り口上の師範をされている筑波和弘さんのパフォーマンスと、お仲間の女性陣による日本舞踊を披露してくださいます。毎年来てくださっていますが、がまの油売りはとても面白くていつも大人気です。

どなたでもご参加出来ますので、お誘い合わせの上ぜひお越しください。

＜日　時＞
　八月三〇日（木）
　午後二時より

＜場　所＞
　研修棟講堂

〈八月集団指導のご案内〉

☆減塩教室

日時　第三木曜日
　午後二時～
場所　第四会議室

一六日
『工夫して美味しく食べよう減塩食
～簡単に二グラム程度減らす方法大公開！～』
管理栄養士

☆糖尿病教室

日時　第一～四金曜日
　午後三時～
場所　第四会議室

三日
『糖尿病と検査値』
臨床検査技師

一〇日
『お外で美味しく食べよう
外食の選び方』
栄養管理士

一七日
『運動療法について』
理学療法士

二四日
『糖尿病とは・・・
原因・症状・合併症など』
内科医師

※予約の必要はありません。
お気軽にお越しください。